

令和6年5月1日

報道機関 各位

富山大学 数理・データサイエンス・AI 教育シンポジウム 2024

富山大学都市デザイン学部では5月15日（水）10:00～12:00でシンポジウム「PBL教育でのデータサイエンス活用の現状と課題」を開催します。

人口減少と少子高齢化が進む中、国はデジタル田園国家都市構想を提唱し、地域の個性を活かしながら社会課題の解決と魅力の向上を図るとしています。現在、データサイエンスや課題解決型学習（PBL：Project Based Learning）は、各大学で取り組むべき重要課題になっていますが、その取り組み方にも各大学の特色があります。また、文部科学省が認定する数理・データサイエンス・AI教育プログラムの応用基礎レベルでは、社会での実例（実課題および実データ）を題材とした演習や課題解決型学習を組み入れた実践的スキルの習得が推奨されています。

そこで、本シンポジウムでは、富山県内の3大学における教育活動において、社会での実例を題材にデータサイエンスをどのように活用しているのか、そして今後の教育活動におけるデータサイエンスやPBLの活用方針について事例紹介と情報交換を行います。

つきましては、本件について取材・報道方よろしくお取り計らい願います。

記

■日時 2024年5月15日（水）10時00分～12時00分

■場所 オンライン（Teams利用）

*申込者には前日までに参加URLを送付します。

■参加対象 どなたでも

■申込方法 以下のフォームより、開催前日までにお申し込みください。

URL：<https://forms.office.com/r/ZDmGCTWbg3>

以上

【本発表資料のお問い合わせ先】

富山大学学術研究部都市デザイン学系 特命助教 土屋泰樹

TEL：076-411-4899

E-Mail：ytsuchiya@sus.u-toyama.ac.jp

PBL教育でのデータサイエンス活用の 現状と課題

2024年5月15日(水) 10:00~12:00

オンライン開催

参加
無料

数理・データサイエンス・AI教育を推進している富山県内の3大学から、教育活動において社会での実例を題材にデータサイエンスをどのように活用しているか、更に、今後の教育活動における活用方針について報告及びディスカッションを行う。



*画像は生成AIのWindows Copilot Image Creatorで作成
「データサイエンスで地域課題をグループワークをしながら解決している授業風景」

プログラム

10:00-10:10

開会挨拶 富山大学 都市デザイン学部 堀田裕弘 教授

10:10-10:35

地域と連携したPBL教育におけるデータサイエンスの活用事例と課題

富山大学 都市デザイン学部 安江健一 准教授

10:35-11:00

データサイエンス・AI教育とPBLの親和性 – 研究室での現状と課題の紹介 –

富山県立大学 情報工学部 奥原浩之 教授

11:00-11:25

地域課題解決にデータサイエンスはどう活用できるか – 富山国際大学の取り組み –

富山国際大学 現代社会学部 新森昭宏 教授

11:25-11:50

ディスカッション (モデレーター) 富山大学 都市デザイン学部 堀田裕弘 教授

11:50-12:00

閉会挨拶 富山国際大学 現代社会学部 新森昭宏 教授

QRコードか下のURLより開催前日までにお申し込みください。

URL:<https://forms.office.com/r/ZDmGCTWbg3>



主催:数理・データサイエンス・AI教育強化拠点コンソーシアム 特定分野校 富山大学

共催:富山県立大学・富山国際大学

お問い合わせ: 富山大学都市デザイン学部 土屋
E-Mail:ytsuchiya@sus.u-toyama.ac.jp